



輝く人

皆さん
健康が一番です
運動を楽しんで
ほしい

松本和芳さん
(栖本町・79歳)

栖本町大河内自治公民館を訪れると、山のほうからカーンと球を打つ音と笑い声が響いてくる。山道を20メートルほど登っていくと、木陰の中に整地されたゲートボール場がある。

毎週火・木・土曜日に地元の10人ほどが集まり約2時間の練習を楽しみ、休憩時間にはお茶を飲みながら地域のわだいでにぎわう交流の場になる。その話の中心にいるのが松本さん。

今年4月からは天草市ゲートボール協会と天草郡市ゲートボール協会の会長、熊本県ゲートボール連合の副会長に抜てきされた。栖本町役場に勤務していたとき公民館でゲートボールの普及を担当していたことがゲートボールとの出会い。退職した後、地域の人たちといっしょに本格的に始めたという。

地域の皆さんと年に12回ほどの大会に出場しているが、「試合で勝つことより、大会を楽しんでいる皆さんからは、「ゲートボールの腕まえも確かだ、うまく教えてくれるし、よくめんどうも見てくれる」と頼りにされている。

9月8日に楠浦町の錦島運動広場で開催された天草郡市秋季ゲートボール大会では、大会長、大河内チームの選手、審判員としてひとり3役をこなし、忙しい中でも終始みんなを気づかい笑顔で応対されていた。

そんな松本さんは、「何でもいっから、体を動かしてみんなで楽しめることを見つけて、健康づくりをすることが一番大事ですよ」と話してくれた。

思いを込めて伝えました 童話発表会天草市大会



▲発表する児童

8月27日、天草市民センターで「第55回童話発表会天草市大会」が開催されました。市教育委員会が、読書意欲や読書力の向上と豊かな心の育成を図ることを目的に毎年実施しているもので、市内の小学校から児童35人が参加。参加者は、それぞれが選んだ本の物語を感情豊かに発表していました。優秀賞に選ばれた12人は9月10日に苓北町で開催された天草地方大会に出場しました。

昔のくらしや遊びを体験 寺子屋体験学習



▲竹とんぼを作って飛ばす児童

8月20、21日、栖本地区コミュニティセンターで「寺子屋体験学習」が行われました。栖本地区振興会が主催で、昔遊びの体験と礼儀作法を学習することを目的に開催され、栖本小6年生15人が参加しました。昔遊び体験では水鉄砲作りや川遊び、竹とんぼ作りを体験しました。

参加した児童は、「ふだんと違う貴重な体験ができました。夏の楽しい思い出になりました」と話していました。

焼きものの歴史について学びました 有明地区公民館講座



▲講演のようす

8月28日、有明地区公民館主催の歴史講座が有明町民センターで行われ、地域住民など20人が受講しました。1765年（江戸時代中期）創業、本渡町本戸馬場の“水の平焼”窯元の7代目岡部信行氏を講師に招き「水の平焼歴史講座」と題した講演を実施。水の平焼の歴史や焼きものの原料の天草陶石、完成するまでの工程、素焼きした陶器に塗る釉薬の種類などの話に、参加者は熱心に聞き入っていました。

下浦の持続的発展に向けて 天草・下浦フィールドワーク2016



▲韓国の地域再生事例を発表するジヨさん

8月19日から21日まで、下浦地区コミュニティセンターなどで、天草・下浦フィールドワークが開催されました。下浦地区振興会と九州大学大学院が、平成26年度から3年計画で実施しているもの。大学院生や韓国の研修生など約70人が参加。6グループに分かれて「石工文化の歴史本の企画」や「フットパスコースの構築」など、今後の下浦の持続的発展に向けた意見交換や韓国の余美里村の地域再生事例の発表などが行われました。